

日ごろの備え



基本的に、震災時と同様の備えとなりますが、風水害時の避難は緊急に生命を守るための避難であり、避難生活をする場ではありませんので、避難する可能性が出た時点で、持ち出し品の確認をしましょう。また、震災時と違い、風水害時は原則物品の支給はありません。ご自身で必要と思われる持ち出し品を持参のうえ避難してください。

風水害時持ち出し品チェックリスト(必要最低限なもの)

<p>★食料・飲料水</p> <input type="checkbox"/> 食料 <input type="checkbox"/> 飲料水	<p>★小物類</p> <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <small>※予備電池も用意しましょう</small> <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 <small>※モバイルバッテリーも用意しましょう</small> <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> スリッパ等 <input type="checkbox"/> 筆記用具	<p>★その他</p> <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 着替え
<p>★要介護者のいる家庭</p> <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> 障害者手帳 <input type="checkbox"/> 補助具などの予備	<p>★乳幼児のいる家庭</p> <input type="checkbox"/> ミルク <small>※お湯は持参してください</small> <input type="checkbox"/> 哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> おんぶひも	
<p>★ペットを飼っている人は【ペット用のゲージを必ず持参しましょう】</p> <input type="checkbox"/> ペットフードや水、トイレ用品 <input type="checkbox"/> 普段からペットケージ(かご)に慣らしておきましょう。 また、犬には基本的なしつけをおこない、日常的に人とのふれあいに慣らしておくことが必要です。		



避難の考え方

身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

安全な場所への避難(水平避難)

避難場所*、近くの高台、土砂 災害警戒区域外の親戚の家など
※すべての避難場所を開設するわけではありません。避難する前にどの避難場所が開設されているか、市・区ホームページ等で確認してください。



水平避難

頑丈な建物の2階以上 または、 近隣の高い建物へ 避難(垂直避難)



垂直避難

建物内の安全な場所で待機(屋内避難)

夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合



屋内退避

(上層階や斜面の反対側などへ)

安全な経路で避難しましょう

河川沿いや急傾斜地(崖)沿いの道は避けて避難しましょう。大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があるので、転落しないよう十分に注意して、近寄らないようにしましょう。



集中豪雨になったら...

瀬谷土木事務所



急激な降雨により、マンホールや側溝のフタが浮き上がり外れてしまうことがあります。雨水が溜まった道路を通行する時は、注意してください。



側溝や雨水ますがゴミや落ち葉で詰まると、雨水が流れ込まずに道路上に水が溜まる場合があります。ゴミや落ち葉が詰まっている場合は取り除くか、土木事務所にご連絡ください。



増水した河川や水路は危険ですので、近づかないでください。

乗入れブロックなどで側溝や雨水ますをふさがないでください。雨水の流れが悪くなります。

急激な降雨により、トイレや風呂場の排水溝から逆流することがあります。土のうがなくとも、ビニール製のごみ袋やスーパーの買物袋に水を入れた「水のう」を作って逆流の広がりを防ぐことができます。

土木事務所では、台風や大雨時にはパトロールや緊急活動を行っており、一般社団法人横浜建設業協会や一般社団法人横浜市造園協会と連携し、道路・公園・下水道・河川の安全のため、活動しています。

せやの防災

風水害編

2020年6月
保存版



令和2年2月に、瀬谷区内の洪水ハザードマップが更新されました。このハザードマップは、あくまでも【想定】です。想定を超える降雨量があった場合、浸水想定区域外の浸水が予測されます。浸水想定区域のみなさんはもちろんのこと、浸水想定区域外の方も日ごろの備えが重要です。

事前に登録して情報を集めよう

横浜市や瀬谷区から、災害情報(避難場所情報等)を発信します。災害伝達手段はそれぞれ特性があります。複数登録するなどして災害に備えましょう。事前に登録が必要なものは、登録を済ませておきましょう。

●横浜市防災情報Eメール **要事前登録**

あらかじめ登録したメールアドレスに、気象警報や避難情報等の防災情報が配信されます。
 登録方法 ●空メールを送信 entry-yokohama@bousai-mail.jp



●Yahoo! 防災速報 **要事前登録**

スマートフォンでアプリをインストールすることで、緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などがいち早くお知らせされます。



●瀬谷区メールマガジン **要事前登録**

・区域の防災情報を随時メールで配信します。
 ・台風発生時の大雨警報や境川の防水情報、避難広報なども随時配信します。
 ・区内の行事やイベント情報を定期的に(原則月1度)配信します。



●瀬谷区Twitter **要事前登録**

・避難情報などの防災情報のほか、区内の行事やイベント情報を随時配信します。



●防災スピーカーによる広報

平成31年4月1日より運用開始された、4基の防災スピーカーです(境川流域)。避難情報(避難準備・高齢者避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))等を発信する際発報します。

上記QRコードを読み取り、登録サイトにアクセスしてください。

●広報車等による広報

状況に応じて、必要な地域へ広報車が出勤します。
※豪雨や暴風時は、広報音声が届きにくくなります。テレビやラジオの音量は極力低くしましょう。



避難情報について

避難指示(緊急)・・・【全員避難】

・直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。
 ・避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。

避難勧告・・・【全員避難】

・速やかに避難先へ避難する。
 ・避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。

避難準備・高齢者等避難開始・・・【高齢者等は避難】

・避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は、避難場所へ避難を開始する。
 ・その他の人は、家族などと連絡、持ち出し品の用意など、避難の準備をするとともに、危険だと思ったら早めに避難する。